

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 教育-22 保険事務								
主管課	学務課	関連課	教育指導課						
分野名	学校教育								
目標 (目標値)	学校管理下における児童生徒の災害、事故等について、互助共済制度を活用することによって、円滑な学校教育の実施を図る。								
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳) ・対象者数は5月1日 学校基本調査人数				
	人口	177,895人	177,224人	177,204人					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯					
	事業の対象者数	11467人	11391人	11301人					
運営資源状況	決算値(千円)	11,867	11,778	11,671					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	11,867	11,778	11,671					
	人員配置数	0.4人	0.4人	0.4人					
	人件費(千円)	3,095	3,197	3,501					
	協働のパートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	14,962	14,975	15,172					
	市民1人当りの経費(円)	84	84	86					
	対象者1人当りの経費(円)	1,305	1,315	1,343					
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒								
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)		
効率的で適切な保険事務の執行	○	目標値	100%	100%	100%	100%	100%		
		実績値	65.0%	65.0%	70.0%	70.0%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退									

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止					
保険事務	11,867	学校保健事務	12,212	今後の方向性	A	理由・手法	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付金オンライン請求システムを全小中学校で導入し、給付金の早期交付を行う。		
				今後の方向性		理由・手法			
				今後の方向性		理由・手法			
				今後の方向性		理由・手法			
				今後の方向性		理由・手法			

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済制度については、平成24年度から中学校でオンライン請求システムを導入し、小学校については、学校でのパソコンの整備状況を考慮しつつシステム導入までのタイムスケジュールを協議し、導入を目指す。											
課題解決のための取組	平成25年度末に、各小学校においてパソコンが整備されることとなったことから、校長会を通じオンライン請求システム導入を依頼し平成26年度中に説明会を実施し、平成27年度までに全小中学校でオンライン請求を開始することとなった。						取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	システム導入にあたっては、学校職員へのシステム導入における説明会を開催し、導入体制を整える必要がある。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	平成26年7月にオンライン請求の説明会を実施し、平成27年度までに全小中学校でオンライン請求システムを導入し、迅速な給付金の支給を行う。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡		A			
※□事業完了												

評価者名

学務課担当課長

廣川 智久

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
保険事務	学校管理下における児童生徒の負傷・疾病等に備え、各種保険金や掛金等の支出をする。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
		1247	学校賠償責任保険料	1,100	1,092	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1247	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金	10,880	10,775	○	○	○	○
		1247	学校事故見舞金	140	0	○	○	○	○
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									